

スマートムーブ実践推進による 二酸化炭素排出削減事業に参加しました

【実施期間】平成25年6月25日～平成26年2月25日

平成24年度エコドライブ活動実践推進による二酸化炭素排出削減事業に「エコムーブ活動（環境に配慮した移動への転換）の推進」を新たに加え、CO2削減を図ることを目的とした「平成25年度スマートムーブ実践推進による二酸化炭素排出削減事業」へ参加しました。

事業の内容、実施報告、事業効果の評価は

ひょうご環境創造協会 HP

<http://eco-hyogo.jp/global-warming/center/npo/>

「平成25年度スマートムーブ実践推進による二酸化炭素排出削減事業報告書」
をご覧ください。



エコドライブ説明会



エコドライブ座学講習会



エコドライブ実車講習会



スマートムーブ勉強会

報告書より、今回の事業での二酸化炭素排出削減効果は、

	年間のCO2削減量(kg-CO2)
エコドライブ活動によるCO2削減量 *1	106,859.0
エコムーブ活動によるCO2削減量	22,888.0
日常生活の行動変容によるCO2削減量	2,064.4
事業全体のCO2削減量 (合計)	131,811.4

*1の内訳

- ①自家用車(スマホコース)20台 年間 約 7,282 kgCO2削減量(約25%減)
- ②自家用車(SDコース)25台 年間 約 6,349 kgCO2削減量(約18%減)
- ③トラック協会コース7台 年間 約 93,228 kgCO2削減量(約25%減)

となっています。このCO2削減量をガソリンに置き換えてみますと約 **56,800リットル**に相当します。

また、課題として

(1) 活動団体の自主性の向上

- ・スマートムーブ勉強会で紹介された「交通エコマップづくり」に触発された自主的な活動。

(2) 実施地域の地域性や特色を取り入れた活動の検討

- ・公共交通機関の状況、地域の地形など異なる特性を考慮したエコムーブ・エコドライブ活動の取組が必要。

(3) 計測対象数の維持

- ・計測器の台数に限りがあり、参加地域が拡大した場合 1 地域での参加数が減少し、地域単位では事業の後退につながる懸念がある。

(4) スマートフォンによるオーバーメモリー現象

- ・平成24年度事業の課題であった出発時の操作性向上を行った結果、操作性が緩慢になり、アプリ未起動により走行データが取得できないケースが見られた。

などがあげられました。